

平成29年度

社会福祉法人安堵町社会福祉協議会事業報告書

社会福祉法人

安堵町社会福祉協議会

平成29年度事業報告 概要

「だれもが住み慣れた地域で安心して暮らせる福祉のまちづくり」を目指して、地域福祉活動の推進・地域包括支援センター運営受託・介護保険事業の運営・介護予防事業・地域での支え合い活動の推進を重点的に事業展開してきました。これにより、地域住民の主体的な参加と協力を得ながら、複雑化、深刻化する地域での福祉課題や生活課題解決に向けて、各種関係機関、団体、行政と連携し、地域包括ケアシステムの定着において当会の役割を果たすため、より一層地域に密着した拠点となるよう努めました。

平成29年度より要支援者等の高齢者の介護保険サービスの一部が、全国一律の基準に基づくサービスから、地域の実情に応じて、市町村が効率的に実施できる地域支援事業に移行し、「介護予防・日常生活総合支援事業」がスタートしました。地域で高齢者の在宅生活を支えるためには、地域での支え合うしくみづくりが必要であり、そうした中で、「認知症になっても地域で安心して暮らせるまちづくり」として、認知症の正しい理解を深めるための啓発活動を行いました。介護予防の推進「自主的な地域活動の推進」として、自主的な住民同士の支え合い活動へとつながるように、いきいき百歳体操の普及啓発、地域サロンの新規立ち上げ、サロン参加者同士の交流会の開催、地域で「支える」ボランティアの育成活動などを行いました。

赤い羽根共同募金・日本赤十字社資募金活動等については、地域住民の活動に対するご理解のもと目標額達成に近づけることができました。

また、各種団体育成事務については、各活動について、必要な機関との連絡調整、書類の手続き等の支援を行いました。

地域包括支援センターの運営については、独居、高齢世帯の増加、様々な地域での問題を、専門職が様々な機関と連携し、地域での支え合いのネットワークを構築しながら支援を行いました。

介護保険事業においては、住み慣れた地域でできる限り、自立した生活が送れるよう、尊厳の確保の理念に基づいて、様々なサービス機関と調整し支援を行いました。

1. 事業実施状況

1. 社協組織の運営

社協総務運営(庶務、経理、理事会、評議員会等の運営)

理事会

第1回	平成29年5月30日(火)
第2回	平成29年6月13日(火)
第3回	平成30年3月20日(火)

評議員会

第1回	平成29年6月13日(火)
第2回	平成30年3月27日(火)

善意銀行取締役会

第1回	平成29年5月30日(火)
第2回	平成30年3月20日(火)

監事の監査

第1回	平成29年5月23日(金)
-----	---------------

2. 広報・啓発活動

各地域での活動の紹介や、ボランティアの情報、社協の活動や情報の記載、地域包括支援センターの紹介等を掲載し、情報発信を行いました。ホームページについても新しい情報の更新を行いました。

・社協広報誌「あんど社協だより」の発行

平成29年5月	78号
9月	79号
平成30年1月	80号

・ホームページ公開(<http://andoshakyo.com>)

3. 募金運動の推進

・日赤募金運動の推進

5月の社員増強月間に全戸募金の協力を、大字区長・自治会長へお願いしました。また、町内の各施設等に募金箱の設置をお願いしました。

目標額	881,000円
実績額	724,692円

・日赤法人募金活動サポート

日本赤十字社奈良県支部と安堵町赤十字奉仕団による企業・法人募金活動を行いました。

募金総額	218,000 円
実施日	平成 29 年 5 月 19 日

・共同募金運動

10 月より募金増強月間に全戸募金の協力を大字区長・自治会長にお願いし、町内の各施設等に募金箱を設置し、皆様のご協力により下記の金額を共同募金会へ送金させていただきました。

目標額	512,600 円
実績額	506,682 円

4. 小地域福祉活動(ふれあい・いきいきサロン)の支援

各大字の公民館において、体操やレクレーション、お茶会、お出かけ等その地域毎に様々な自主活動をされています。内容によって、ボランティアさんや講師の先生への依頼など、繋ぎ役として支援をさせていただきました。新たに新法隆寺・興人サロン・ナデシコが立ち上がりました。

各サロン開催状況

サロン名	開催日	開催場所	参加人数
東安堵あくなみサロン	第2水曜日	東安堵(南)公民館	15～20名
西安堵ふれあいサロン	第3木曜日	西安堵公民館	10名
下窪田ふれあいサロン	第3木曜日	下窪田公民館	5～8名
岡崎あすなろ会	毎月15日	岡崎公民館	20名
笠目サロン	第3金曜日	笠目公民館	15～20名
かしの木台日の出サロン	第2・第4金曜日	かしの木台集会所	15～18名
小泉苑いずみの会	第2木曜日	小泉苑公民館	15～20名
柿の里・若草の里いきいきサロン	第3火曜日	柿の里集会所	10～15名
柿の里女性サロン	第2金曜日	柿の里集会所	10名程度
柿の里ダンディ	第1火曜日	柿の里集会所	10名程度
若草の里サロン	月1回日曜日	若草の里集会所	10名程度
上窪田サロン	年1回日曜日	上窪田公民館	30名以上
ほっとあんどサロン	第4火曜日	福祉保健センター	20～25名
新法隆寺・興人サロン・ナデシコ	偶数月第1月曜日	福祉保健センター	20～25名

5. 生活困窮者への自立支援事業

緊急性を要する生活困窮者に対して、生活保護制度利用等決定に至るまでの間の緊急時には、緊急小口資金の貸付へと繋いだり、その日の食べる物がないなどの場合は、食糧支援を行いました。

生活福祉資金延相談件数	11 件
生活福祉資金貸付件数	5 件
生活困窮者自立支援事業 (フードレスキュー支給)	5 件

6. 善意銀行の運営

広く地域住民の善意による預託を様々な地域より受けました。効果的に地域に還元できるよう努めると共に、生活困窮者等への貸付相談にも対応しました。

延相談件数	3 件
貸出件数	1 件
寄付金受入件数	11 件
寄付金受入総額	117,189 円

7. 日常生活自立支援事業

金銭管理のできない高齢者や認知症、精神障害等のある方などに対し、定期的に生活支援員が訪問して日常的な金銭管理を支援しました。必要に応じて福祉サービスの情報提供等も行いながら自立した生活を送っていただけるよう努めました。

延相談件数	9 件
利用件数	2 件

8. 関係機関及び各種団体との連携

民生児童委員、安寿会連合会、身体障害者会、赤十字奉仕団、遺族会、保護司会、町内ボランティア団体(おはなし会ねこじゃらし・手話サークル葉の会・運動普及ボランティア・ネットあんど協働たい等)の活動推進、県やその他からの情報や助成金等の事務等の支援を行いました。

・民生児童委員協議会の年間活動の支援

年間事業内容	
定例委員会	12 回
心配ごと相談の実施協力	22 回
施設見学、研修	2 回

生活福祉資金制度の支援協力	随時
独居高齢者調査の協力	随時
施設ボランティア実施の支援	12回
5/12 民生児童委員の日活動強化週間支援	1回
生駒郡連合会研修会への参加	1回

・安寿会の年間活動の支援

年間事業内容	
支部長・本部役員会	8回
町内美化運動	2回
小学校交流	3回
保育園餅つき大会	1回
消費者被害講習会	1回
健康講演会	1回

・福祉団体育成事務支援

(福祉団体)

民生児童委員協議会・安寿会・安堵町赤十字奉仕団・身体障害者会・遺族会
保護司会

(ボランティア団体)

ネットあんど協働たい・手話サークル葉の会・運動普及ボランティア・おはなし会
ねこじゃらし

・献血事業

町内で年2回実施する献血事業に対し、安堵町赤十字奉仕団と協力して広報、啓
発活動を行いました。

実施日	平成29年8月17日
実施日	平成30年2月27日

9. ボランティア登録・支援・協力校との連携

社協のボランティア保険に加入の団体、ボランティアとして登録についての支援を行
いました。また、地域で支えるを目的に昨年度誕生した、ボランティア「あんどよりそい隊」の
活動についてのマッチング等を行いました。

登録団体	24団体
個人登録	2名

10. 障害者社会参加促進事業

手話奉仕員養成講座(入門課程)を開催し、一人でも多くの方に聴覚障害者への理解と知識を学ぶことで交流を深め、障害を持った方にも暮らしやすい町づくりに努めました。

実施日	平成 29 年 9 月 14 日(木)～平成 30 年 2 月 22 日(木) 計 18 回
実施場所	安堵町福祉保健センター2 階会議室
参加人数	6 名(男性 1 名・女性 5 名)
講義内容	・テキスト講義 ・DVD 学習 ・ろうの講師を交えての交流学习

11. 福祉用具貸出し(車いす)

一時的に歩行が困難で、介護保険での車いす貸出しサービスが利用出来ない方を対象に、無償で貸し出しを行いました。また、共同募金配分金を利用し、車いす1台購入、メンテナンス、処分等行いました。

貸出件数	延 7 件
------	-------

12. 福祉サービス苦情解決

福祉サービス分野に「苦情解決のしくみ」を導入し、苦情解決責任者1名、苦情受付担当者 1 名、第三者委員2名を配置し、ニーズの把握やサービスの質の向上に結びました。

苦情件数	0 件
------	-----

13. 地域包括支援センター運営事業

独居、高齢世帯、認知症高齢者や様々な問題を抱えた方が増加する中で、できる限り住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、地域包括ケアシステム構築においてはその果たす役割が多く、専門性を相互で生かしながら総合相談や支援体制の充実を図るよう、関係機関と連携を行いました。公的なサービスのみならず、住民同士の様々な支え合いサービスなど、地域の様々な資源を最大限に活用し、住民にとって暮らしやすい町づくりを目指しました。

・介護予防支援事業(介護予防サービス計画作成)

利用者(実人数)	要支援者	80 名
	事業対象者	5 名
年間延利用者数	要支援者	684 名
	事業対象者	35 名
包括 担当件数	要支援者	194 件
	事業対象者	21 件

委託件数	要支援者	500 件
	事業対象者	16 件

・総合相談支援事業・権利擁護事業

訪問件数

要支援者のケアマネジメント関係	116 件
要介護認定未申請の独居高齢者等	285 件
訪問時不在およびその他	34 件
年間訪問件数計	323 件
月平均訪問件数	19.5 件

・包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

安堵カンファレンス	2 回
生駒郡内介護支援専門員合同研修	4 回
民生児童委員さんとの交流会	1 回
家族介護教室にて住民さんとの交流会	1 回

・介護予防ケアマネジメント事業

元気アップ教室	31 回
いきいき百歳体操	6 カ所
地域サロンへの支援	46 回

・地域ケア会議開催

困難事例会議	4 回
--------	-----

・在宅医療・介護連携推進事業

退院前カンファレンス	1 回
西和医療センターとの事例検討会	6 回
生駒地区地域ケア会議	4 回
多職種勉強会	3 回
退院調整ルールづくり会議	7 回
在宅医療・包括ケア推進プロジェクト会議・ワーキング会議・市民公開講座等参加	

・生活支援体制整備事業

基礎研修会参加	1 回
---------	-----

・認知症総合支援事業

認知症初期集中支援チームにて対応	6回
認知症サポーター養成講座	4回
キャラバンメイト連絡会	1回
認知症ケアパス作成	

14. 介護保険事業

・居宅介護支援事業

介護サービス計画作成利用者数

要介護(H30.3月実績)	46名
介護予防(H30.3月実績)	5名
年間延利用者数 要介護	618名
介護予防	65名

・訪問介護事業利用者数

介護を必要とする高齢者に対し、介護福祉士やホームヘルパーがサービス利用者の居宅を訪問し、できる限りその方の残存能力を生かしながら、入浴・食事・排泄・着替えなどの身体的な介護や、調理・掃除・洗濯等の家事援助を行い、自立した日常生活が送れるよう、支援しました。

要介護(H30.3月実績)	13名
事業対象者(H30.3月実績)	10名
年間延利用者数 要介護	133名
介護予防	38名
事業対象者	90名
年間延利用時間数 要介護	2,102時間
介護予防	192時間
事業対象者	466時間

15. 受託事業の実施

(1) 包括的支援事業(地域包括支援センター) 前述のとおり

(2) 療育教室開催事業(対象者5歳児以下の児童)

心身の発達等について心配のある幼児と親子を対象に、幼児の遊びを通して身体の発育や知的活動、情緒の安定、社会性の調和的な発達を促し、豊かに伸び行く可能性を引き出せるよう、指導員とともに月3回程度教室を開催しました。

月平均参加児数	9.41 名
年間延人数	113 名

(3) 手話奉仕員養成講座事業(入門課程)

前述のとおり

(4) 介護予防事業

「家族介護教室」

高齢者を介護している家族や近隣の援助者に対し、計6回の介護教室を開催し、介護に関する知識や技術、介護者の健康管理等について学んでいただいた。また、介護者間の交流を通してネットワークづくりを支援しました。

実施回数	6 回
延人数	107 名
開催内容	笑いヨガでストレス解消
	負担の少ない介護技術
	高齢者の食事作り
	施設見学 あくなみ苑
	在宅で利用できる医療・介護
	交流会

「ためして元気アップ教室」

一時的に筋力、体力等の低下している高齢の方に対し、筋力、体力等の向上を集中的に図り、以前の様な元気を回復することを目的にした教室を6カ月間集中的に開催しました。自宅を訪問し、機能低下の原因や背景について専門職と共にアセスメントし、個別の目標を設定し、機械を使ってトレーニングし、教室卒業後も自分で予防できるような習慣を身につけるよう支援しました。

実施回数(H29.8～H30.2)	31 回
延参加人数	126 名
事業委託先	奈良厚生会病院

「介護予防講演会」

高齢になっても介護を必要とせず、自立した生活が送れるよう、早期の予防対策ができるように、広く住民に対して講演会を開催し、啓発を行いました。

実施回数	1回
参加人数	42名
開催日	平成29年11月30日
講演会内容	第1部 「なつかしの歌を歌いましょう」 弾き語り 野々村秋廣氏 第2部 「これだけは知っておきたい救急対応」 講師 前田クリニック院長 前田代元先生

「介護ボランティア養成講座」

地域住民の更なる活躍の場を広げ、いつまでも住み慣れた町で暮らし続けるために、「地域を支える」役割を担っていただけるように、共に考え、活動を支援しました。

ボランティア会議	12回
ボランティア加入者	5名
活動実績	独居高齢者の散歩付き添い
	買い物支援
	病院の付き添い
	いきいき百歳体操支援
	お話し相手

「いきいき百歳体操」

自分の身体は自分で守るために、筋力アップ、柔軟、バランス感覚が鍛えることのできる、おもりを使った“いきいき百歳体操”を週に1回、地域住民さん自ら、集会所等で行う活動を支援しました。介護予防と同時に、地域の通いの場づくりへと繋がりました。

実施箇所数	6ヶ所	
参加人数	117名	
説明会開催数	2回	
実施場所	かしの木台	第2・4金曜日
	小泉苑	毎週水曜日
	柿の里	毎週金曜日
	東安堵あくなみ	毎週月曜日
	笠目	毎週月曜日
	福祉保健センター	毎週金曜日

「サロンの回数を増やす取組」

様々な地域サロンの代表者の方14名に集まってお話しいただき、それぞれの地域サロンで抱えている悩みや実施内容の情報交換などを行いながら、今後のサロン活動発展

のヒントになるよう、交流の場を持っていただきました。

実施日	平成 30 年 3 月 5 日(月)
参加人数	14 名 (男性 9 名/女性 5 名)
グループ討論内容	・現在の各サロンの活動報告 ・活動についての困りごと・課題

「地域資源マップづくり」

独居・高齢世帯の方を対象に、日常生活で役立つ情報(医療・介護・理美容・食事・地域の通いの場等)をまとめ、地域の資源情報を必要な方に発信できるよう、資源マップ(ほっとあんどお助けマップ)の作成を行っております。新たに情報の更新等をホームページで行いました。

「協働啓発事業」

介護予防に関する知識を福祉保健センターや、地域の公民館などにおいて、普及、啓発することで介護予防への関心を高めてもらい、健康寿命延伸に繋げるよう努めました。

実施回数	3回
実施内容	・認知症の理解を深めるための寸劇 ・人生90歳時代を目指す健康づくりについて ・介護保険制度と総合事業、安堵町の取組について

(5) 認知症サポーター養成講座

認知症になっても地域で暮らせるまちづくりを目指し、地域において認知症に対する正しい理解と、見守ることの大切さを啓発するために基礎講座を開催しました。修了者にはオレンジリングを配布し、支える側の仲間づくりに努めました。

実施日	対象	参加人数
平成 29 年 6 月 11 日	若草の里サロン	15 人
平成 29 年 9 月 25 日	安寿会健康リーダー	25 人
平成 29 年 9 月 27 日	手話サークル	18 人
平成 29 年 11 月 12 日	上窪田サロン	29 人

(6) 心配ごと相談事業(個々の心配ごと等相談支援)

住民の日常生活上のあらゆる相談に応じ適切な助言、指導を行うために、民生児童委員協議会の協力のもと、月2回相談窓口を開設し地域住民の地域福祉の増進をはかりま

した。

年 22 回開催 相談件	1 件
--------------	-----

(7) 要介護認定・要支援認定調査

介護の申請された方について、安堵町より認定調査の依頼があった場合に、介護支援専門員等が対象の方に対して認定調査を行いました。

年間件数	3 件
------	-----

(8) 安堵町福祉団体育成事務

福祉団体	民生児童員協議会 安寿会 赤十字奉仕団 身体障害者会 保護司会 遺族会
ボランティア団体	ネットあんど協働たい 手話サークル葉の会 おはなしの会ねこじゃらし 運動普及ボランティア

(9) 生活管理指導員サービス事業

利用者なし

(10) 軽度生活援助事業

利用者なし